

戦争の記憶から平和の創造へ:俳句を活用したCLIL型日本語教育の実践

From Memories of War to the Creation of Peace:
A CLIL-Based Japanese Language Education Practice Using *Haiku*

松永典子, 九州大学

檜山純子, Universiti Tun Hussein Onn Malaysia

発表要旨

マレーシアと日本の大学生による交流学习を通じ、日本語学習に戦争の歴史に関する内容を統合し、学習者の平和創造に向けた態度育成を目指す実践を行ってきた。戦争の記憶に関する個人史を読解教材として用い、議論を通じて学習者の具体的認識を抽象化し、他者理解と平和的態度の形成につなげることを試みている。なかでも「平和俳句交換」では、俳句という短詩形式が、相手の内面への理解を促進し、心理的距離の縮小や友好関係の構築に寄与することが確認された。本発表では、日本語教育における俳句作成課題を通じたCLIL実践に焦点を当て、特に4C(内容・言語・思考・文化)の観点からその教育的意義を考察する。平和をテーマとした俳句の創作と交換は、戦争の記憶という歴史的内容(Content)をもとに、日本語による詩的表現(Communication)、価値観の構築や相互評価を通じた認知的な深化(Cognition)、そして文化的背景や平和への共通理解(Culture)を統合的に促す学習活動であることを検証する。